

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73202	3	前期	必修	1	30
授業科目名 (英文)	母性看護援助論Ⅱ (臨床看護援助) (Maternal-Newborn Nursing Ⅱ)				
担当教員名	小黒 道子／遠藤 亜貴子／田所 由利子／増澤 祐子				
授業の概要及び到達目標					
<p>[授業概要]</p> <p>母性看護学は、リプロダクティブヘルス／ライツの理念を看護の基盤として、看護の対象および看護の機能と役割を理解し、看護実践に必要な基礎的な能力を養うことを目的としている。</p> <p>本科目では、妊娠・分娩・産褥期にある女性と新生児、およびその家族を対象として、ウェルネスの観点から、妊娠および出産に関わる健康課題や健康問題を明らかにし、基礎的な看護の方法(看護過程、フィジカルアセスメント、保健指導など)を講義、グループワーク、演習を通して学習する。</p> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊婦と胎児の健康状態を判断し、安全・安楽に妊娠期を過ごすためのケアを説明できる 2. 妊娠期に必要な身体検査の目的・方法・留意点があり、資料を見ながら実施できる 3. 産婦の分娩進行状態および母児の健康状態を判断し、安全・安楽に分娩期を過ごすためのケアを説明できる 4. 産婦の健康状態を判断し、安全・安楽に産褥期を過ごすためのケアを説明できる 5. 新生児の特徴に基づいたケアを説明できる 6. 産婦・新生児の身体検査の目的・方法・留意点があり、資料を見ながら実施できる 7. チーム基盤型学習(Team-Based Learning; TBL)を使用して、周産期にある対象を理解するために学習した知識や技術を臨床で応用する方法を修得し、実習で活用するイメージをもつことができる 8. チームで協力しながら、課題を解決していく中で、コミュニケーション力、対人関係構築力、チームワーク力を身につけることができる 					
準 備 学 習 等					
<p>【講義の準備学習】</p> <p>テキストの以下の部分および事前配布資料を予習してあることを前提に講義を進めるので熟読しておくこと。</p> <p>第1回 TBLガイド</p> <p>第2,3,4,5回 テキスト① 第1章「妊娠期の看護」</p> <p>第6,7,8,9回 テキスト① 第2章「分娩期の看護」</p>					

第 10,11,12,13 回 テキスト① 第 3 章「産褥期の看護」

第 4 章「新生児期の看護」

第 14,15 回 テキスト② 第 1～2 章「看護過程とは」「ウェルネス看護診断」

講義終了後は、テキストと講義資料で十分に復習すること。

【援助技術演習の準備学習】

事前に提示される演習自己課題に取り組み、ナーシングスキル等を活用し、基本的な手順を理解した上で演習に参加すること。

演習終了後は、自己の技術の振り返りを行い、演習後課題に取り組む。

【看護過程の展開（グループワーク）の準備学習】

テキスト②第 3 章「看護過程の実際」とこれまでの講義資料を熟読し、まず個人で看護過程を展開した上でグループワークに参加すること。授業後はグループワークの内容をもとに、個人で看護過程の追加、修正を行う。

成績評価の方法	Team-Based Learning(TBL)におけるチーム課題への取り組み 60%、筆記試験 40%
テキスト	①有森直子編，母性看護学Ⅱ周産期各論，医歯薬出版，2015 ②太田 操編，ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程第 3 版，医歯薬出版，2017
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・横尾京子 他著，「母性看護学(1)：母性看護実践の基本 ナーシング・グラフィカ 第 4 版」，メディカ出版，2016 ・横尾京子他著，「母性看護学(2)：母性看護技術 ナーシング・グラフィカ 第 3 版」，メディカ出版，2016 ・石原理 他編，「講義録 産科婦人科学」，メジカルビュー社，2010 ・杉本充弘編著，「ナースの産科学」，中外医学社，2013 ・仁志田博司，「新生児学入門 第 4 版」，医学書院，2012 ・横尾京子，「新生児ベーシックケア 家族中心のケア理念をもとに」，医学書院，2011 ・石村由利子編，「根拠と事故防止からみた母性看護技術 第 2 版」，医学書院，2016 ・医療情報科学研究所編，「病気がみえる vol.10 産科第 3 版」，メディックメディア，2013
備考	<p>本科目の受講には母性看護援助論Ⅰを理解していることが前提となる。</p> <p>また本科目の単位取得は、母性・小児看護学実習の前提条件になっている。</p> <p>各教員のオフィスアワーについては、看護学科「オフィスアワー」の項を参照のこと。</p>

授 業 計 画

第1回	科目ガイダンス 妊娠出産体験を聴く
第2回	TBL: 妊娠期① 妊娠期のアセスメントとケア
第3回	TBL: 妊娠期② 妊娠期のアセスメントとケア
第4回	TBL: 妊娠期③ 妊娠期のアセスメントとケア
第5回	演習: 妊娠期④ 看護技術
第6回	講義: 分娩期①
第7回	TBL: 分娩期② 分娩期のアセスメントとケア
第8回	TBL: 分娩期③ 分娩期のアセスメントとケア
第9回	応用演習課題: 分娩期④
第10回	講義: 産褥・新生児期①
第11回	TBL: 産褥・新生児期② 産褥・新生児期のアセスメントとケア
第12回	TBL: 産褥・新生児期③ 産褥・新生児期のアセスメントとケア
第13回	演習: 産褥・新生児期④ 看護技術
第14回	演習: 看護過程の展開① 産褥・新生児期
第15回	演習: 看護過程の展開② 産褥・新生児期 全体のまとめ